

2018年度 日仏海洋学会学術研究発表会プログラム

期 日 : 2018年6月2日(土) 場 所 : 日仏会館 501 会議室 (東京都渋谷区恵比寿 3-9-25)
参 加 費 : 正会員 3,000 円、学生会員 無料、非会員 4,000 円、非会員(学生) 1,000 円

9:00 受付開始

9:15~11:15 学術研究発表 午前の部 (各 15 分)

座長 松本 陽 (福島資源研)

9:15-9:30 調査用浮延縄漁具における中立ブイ装着鉢の敷設形状と移動について

○北村佳博, 塩出大輔, 上嶋紘生, 根本雅生, 胡 夫祥 (海洋大)

9:30-9:45 相模湾における外洋性さめ類の漁獲動向の季節変化

○上嶋紘生, 谷崎好輝, 北村佳博, 塩出大輔, 吉田次郎, 根本雅生 (海洋大)

9:45-10:00 マイルカ科特にゴンドウ型鯨類における頭骨の形態学的多様性

○渡辺ひかる¹, 廣瀬亜由美¹, 村田尚史², 岡部晴菜³, 中村 玄¹, 加藤秀弘^{1,4}

(¹海洋大, ²名護博, ³財・沖縄美ら島, ⁴日鯨研)

10:00-10:15 北太平洋産ザトウクジラにおける遺伝学的手法を用いた沖縄系群と他系群の交流の可能性の検証

○柴田千恵理¹, 吉田英可², 岡部晴菜³, 小林希実³, 中村 玄¹, 加藤秀弘^{1,4}

(¹海洋大, ²国水資研, ³財・沖縄美ら島, ⁴日鯨研)

座長 上嶋紘生 (海洋大)

10:15-10:30 コアジサシを利用した森ヶ崎水再生センター周辺(東京湾奥)の魚類相調査

白石瑛子¹, 〇丸山啓太¹, 竹山佳奈², 北村亘³, 河野博¹ (¹海洋大, ²五洋建設, ³リトル・ツプロ)

10:30-10:45 福島県における沖合底びき網漁業の漁獲物と底水温との関係

○松本 陽¹, 山田 学¹, 川田 暁¹, 坂本 啓², 吉田哲也², 松本育夫²

(¹福島資源研, ²福島海洋研)

10:45-11:00 クエの仔魚期から1歳にかけての分光視感度の変化

○柴田玲奈, 高山 剛(水産機構水工研)

11:00-11:15 日仏間における漁業労働環境の比較研究(1) かき養殖作業船の比較

○高橋秀行 (水産機構水工研)

11:20~12:10 評議員会

12:10~13:00 昼休み

13:00~15:15 学術研究発表 午後の部 (各 15 分)

座長 内田 裕 (JAMSTEC)

13:00-13:15 High Latitudes Coral Communities under Warming and Ocean Acidification

○Sylvain Agostini¹, Yohei Nakamura², Maggy Nugues³, Natacha Roux³, Hironobu Fukami⁴, Yuko Kitano⁵, Shoji Yamamoto⁶, David Lecchini³, Nicolas Floc'h⁷, Ben Harvey¹, Shigeki Wada¹, Jason Hall-Spencer⁸, Marco Milazzo⁹ (¹ University of Tsukuba, ² Kochi University, ³ CRILOBE (Fr), ⁴ Miyazaki University, ⁵ NIES, ⁶ University of Tokyo, ⁷ ESSAB (Fr), ⁸ Plymouth University (UK), ⁹ Universiti di Palermo (It))

13:15-13:30 長面浦における底質を中心とした環境について

○奥村 裕¹, 筧 茂穂¹, 原 素之² (¹水産機構東北水研・²東北大)

13:30-13:45 Diel vertical distribution of phytoplankton and zooplankton in Tateyama Bay

○Khin Khin Gyi¹, Rie Nakamura², Takuo Omura^{1,2}, Yuji Tanaka¹ (¹TUMSAT, ²LASC)

- 座長 中野知香 (気象協)
- 13:45-14:00 Seasonal deepening of the mixed layer at the Antarctic Circumpolar Current and near-inertial period internal waves.
○Matheus Azevedo, Yujiro Kitade (TUMSAT)
- 14:00-14:15 Luzon 海峡で発生する内部波の時空間変動
○千手智晴¹, 酒井秋絵², 堤 英輔¹, 松野 健¹, 郭 新宇³, 柳本大吾⁴, 安田一郎⁴
(¹九大応力研, ²九大院総理工, ³愛媛大 CMES, ⁴東大 AORI)
- 14:15-14:30 南大洋グリッドデータセットを用いた循環構造の解析
○渡部和帆, 北出裕二郎, 嶋田啓資 (海洋大)
- 座長 千手智晴 (九大応力研)
- 14:30-14:45 濁度が捉えた海洋内部波動?
○内田 裕, 土居知将 (JAMSTEC)
- 14:45-15:00 The property of seasonal variation in northwest of Sendai Bay
○Jianxi Huang, Yujiro Kitade (TUMSAT)
- 15:00-15:15 1993 年から 2016 年にかけての東京湾海洋構造の変化—青鷹丸観測航海観測成果—
○中野知香^{1,3}, 山田莉那¹, 山本栄里¹, 宮崎奈穂¹, 林 敏史², 宮崎唯史², 萩田隆一², 上嶋紘生², 吉野 紘², 坂本寛子², 根本雅生¹, 吉田次郎¹ (¹海洋大, ²海洋大練習船, ³気象協)
- 15:20~16:10 総会
- 16:10~16:15 名誉会員証授与
- 16:15~16:30 2018 年度日仏海洋学会賞および論文賞授与式
- 学会賞受賞 田中祐志会員 (海洋大)
「魚卵仔稚魚・動物プランクトンの個体の行動と空間分布に関する研究」
- 論文賞受賞 東蘭圭吾会員 (香川大学農学部) “Seasonal variation of primary productivity in the Shinkawa River estuary, eastern Seto Inland Sea, Japan”, 54, 3-4, 55-72, 2016
許 敏会員 (中国科学院海洋研究所) “Field measurements of drag force on *Sargassum horneri* (Turner) C. Agardh towed by a boat and estimation of drag coefficient”, 54, 3-4, 43-53, 2016
- 16:30~17:00 2018 年度日仏海洋学会賞記念講演 田中祐志会員
- 17:30~19:30 懇親会 PRONT 恵比寿東口店 (JR 恵比寿駅東口すぐ) 会費 5,000 円, 学生 3,000 円